

グリーンボンド発行に関するお知らせ

センコーグループホールディングス株式会社(社長:福田泰久、以下「当社」)は、国内市場において公募形式によるグリーンボンドの発行(以下、本発行)を予定しておりますのでお知らせいたします。

また、本グリーンボンドとは別に、国内市場において公募形式による普通社債(10年債)の起債も予定しております。

1. 本発行の背景

当社グループは、人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、物流・商流事業を核に、未来を動かすサービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、真に豊かなグローバル社会の実現に貢献することをグループのミッション&ビジョンとして掲げ、これまで事業活動をおこなってまいりました。

現在、当社グループでは、2021年度までの中期経営5カ年計画「センコー・イノベーション・プラン 2021 (SIP21)」に取り組んでおります。SIP21では、「企業の社会的責任(CSR)の重視」を経営方針のひとつとし、グループCSRの中期方針を策定しました。このグループCSRの中期方針では、①環境活動、②安全活動、③健康活動、④社会活動 それぞれについて重点施策を掲げ、取り組んでいるところです。

その中で、当社は、東海エリアにおける物流の効率化とモーダルシフトの提供を通じたグリーン物流の推進のため、岐阜羽島PDセンターと湾岸弥富PDセンターを建設する計画を進めております。物流の効率化やグリーン物流の推進は、温室効果ガスの削減に資するものであることから、地球環境に対する当社の姿勢をより明確に示すために、この度、PDセンター建設資金をグリーンボンドの発行により調達し、建設を推進することとしたものです。

2. グリーンボンドの概要

発行体	センコーグループホールディングス株式会社
発行年限	5年(予定)
発行額	100億円(予定)
発行時期	2020年9月(予定)
資金用途	岐阜羽島PDセンター、湾岸弥富PDセンターの建設資金に充当
主幹事証券	大和証券株式会社
幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント※1	大和証券株式会社

その他詳細は決定後にお知らせします。

※1 グリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント:

グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援をおこなう者。

3. グリーンボンド フレームワークの策定および外部評価(セカンドオピニオン)の取得について

グリーンボンドの発行にあたって、国際資本市場協会(ICMA)のグリーンボンドガイドラインに定められている4つの要件(1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価と選定、3. 調達資金の管理、4. レポーティング)に対応したグリーンボンドフレームワークを策定しました。

グリーンボンドの適合性評価については、第三者機関である株式会社格付投資情報センター(R&I)より、国際資本市場協会(ICMA)による「グリーンボンド原則 2018」および環境省「グリーンボンドガイドライン 2020年版」に適合している旨のセカンドオピニオンを取得し、「R&Iグリーンボンドアセスメント」において最上位評価である「GA1」の予備評価を取得しております。

また、本社債の発行にあたって第三者評価を取得することに関し、環境省の「令和2年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業」の補助金交付対象となっております。

4. 資金使途について

本グリーンボンドは、岐阜羽島PDセンター、湾岸弥富PDセンターの建設費用を対象としています。

2か所のPDセンターの運営を通じた顧客の物流効率化の実現により輸送に係るCO2排出量を削減するとともに、PDセンターにおける省エネと再エネ利用を通じた自社のCO2排出量の削減を実現します。当社はこれらの取り組みにより、より一層グリーン物流の実現を目指してまいります。

岐阜羽島 PD センター 建物投資額:42 億円 (内 2020 年度:23 億円)

建設地	岐阜県羽島市上中町(岐阜羽島インター南部東地区)
敷地面積	1 万 8,700 ㎡
延床面積	3 万 500 ㎡(倉庫 2 万 6,400 ㎡、バース 2,800 ㎡、事務所 1,300 ㎡)
設備関係	自家消費型太陽光パネル
開設予定時期	2021 年 4 月

<完成イメージ>



湾岸弥富 PD センター 投資額:80 億円規模 (2021 年以降)

建設地	愛知県弥富市鍋田町
敷地面積	2 万 9,664 m ²
延床面積	4 万 4,739 m ²
設備関係	自家消費型太陽光パネル
開設予定時期	2022 年 4 月

<完成イメージ>



以上